



紋別市

概要

紋別市は、広大な市域に集落が分散することから、効率的な路線バスの運行が難しく、郊外においては全て赤字路線であるほか、公共交通空白地域も存在する状況にある。このため、路線バスの維持、公共交通空白地域の解消等を目指し、バス路線の再編、デマンド型交通の導入等の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・北紋バス(株)(市内4路線、郊外9路線)
- ・都市間バス(札幌、旭川、北見)
- ・スクールバス
- ・紋別空港

地域公共交通の課題

- ・広大な市域に集落が分散し、路線バスの維持が困難
- ・公共交通空白地域が存在
- ・マイカーへの依存度の高さ

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・バス路線の再編の試験的实施
- ・モデル地区におけるデマンド型交通の試験的導入

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・バス路線の再編の検討
- ・郊外におけるデマンド型交通の導入の検討
- ・小中学校等の待合施設としての活用等の検討
- ・その他、バスの利用促進法策、利便性向上方策



紋別市地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

主な調査の実施内容

協議会開催状況

3回開催

分科会等開催状況

幹事会2回開催

左記開催状況は
H21.1.30現在

現況交通実態調査

- ・各種統計資料等による人口、産業構造、公共交通実態の調査及び循環バス利用実態・乗降調査等(H20.9月)を実施。
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・循環バス利用者アンケート(H20.9.18・21)、スクールバス混乗利用者アンケート(H20.10月)の各調査を実施。

バス路線の再編の試験的实施

- ・市街地路線バスの再編のため、循環バスの実証運行を実施。(H20.9月、1ヶ月間、右・左回り各14本、1回300円)

モデル地区におけるデマンド型交通の試験的導入

- ・公共交通空白地域の対応策として、藻別・元紋別一部地域と市内バスターミナルを結ぶデマンド式のスクールバス混乗実証運行を実施。また、実施地域において運行前後に説明会・懇談会を開催。(H20.9月、1ヶ月間、全65便を事前登録による予約制で運行)

予定している連携計画の内容

バス路線の再編の検討(実施主体:紋別市・北紋バス(株)、実施時期:H21~)

- ・市内路線のダイヤの見直しと合理的・効率的な運行のため、市内循環バスを統合・路線再編し実証運行を実施。

郊外におけるデマンド型交通の導入(実施主体:交通事業者、実施時期:H23~)

- ・公共交通空白地帯において、スクールバス混乗等を含む少人数輸送に応えるデマンド運行等を導入。

バス利用促進・利用環境の整備(実施主体:紋別市・交通事業者・市内企業等、実施時期:H21~)

- ・HP、チラシによる各種情報発信、車両ラッピングや愛称公募、バス待ち環境関連施設の整備を実施。

冬季観光バスの利便性向上策の検討(実施主体:紋別市観光周遊バス運行協議会、実施時期:H21~)

- ・市内観光シャトルバスを空港や観光施設等と連携させた新たな路線とし、合理的・効率的な運行とするため、実証運行を実施。

自己評価のポイント

乗降調査、アンケート調査、循環バス、デマンド交通の試験運行、説明会・懇談会等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において幹事会も開催しながら合意形成を図っている。

二次評価のポイント

自己評価のとおり。